

平成14年8月7日

各 位

病虫害防除所長

病虫害発生予察技術情報資料第7号の送付について

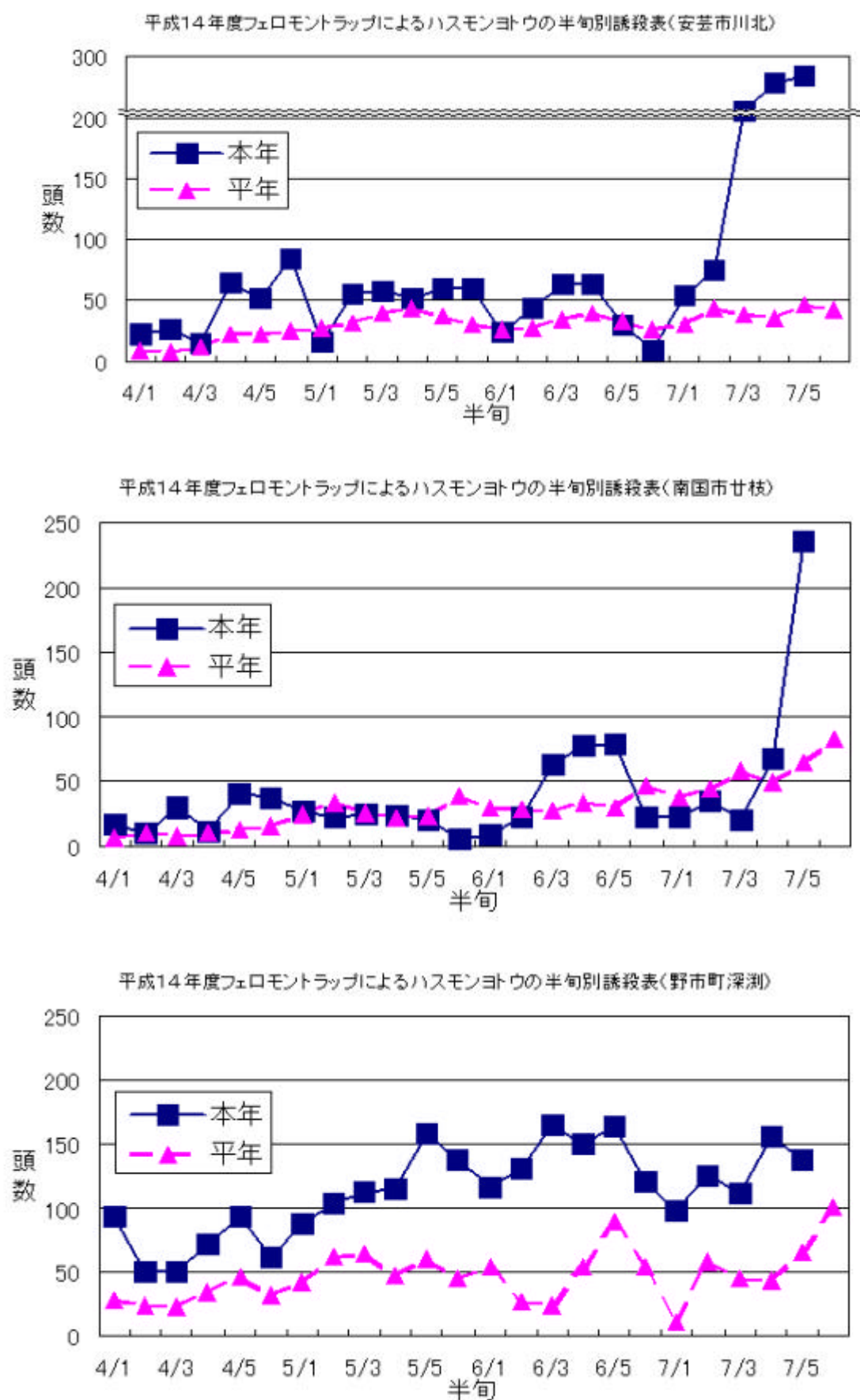
ハスモンヨトウの発生状況について、別添のとおり資料を送付しますので、防除指導の参考にしてください。

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は春先から平年並～やや多めで推移してきており、特に7月以降、安芸市、南国市では急増しています（図1）。また、農業技術センター（南国市）における調査では卵塊数が7月10日以降急増し、平年の1.5倍程度になっています（図2）。

今後、施設野菜類の育苗期から本ば初期、また、ダイズ、サトイモ、オクラ等の露地作物で多発生の恐れがあります。

なお、8月中旬に県下の全域での発生調査を実施する予定です。

図1：各地区のフェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数



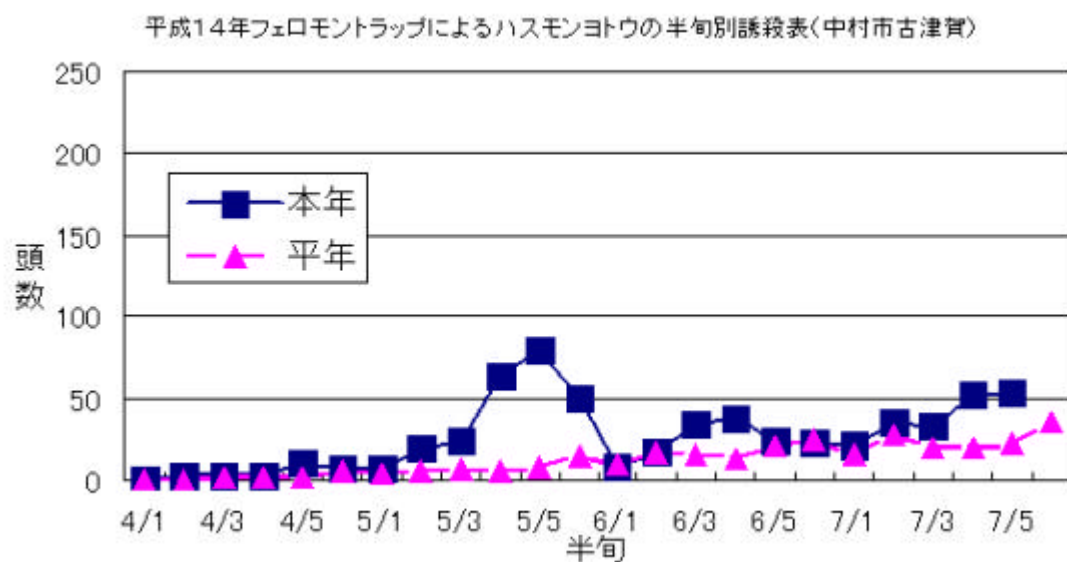
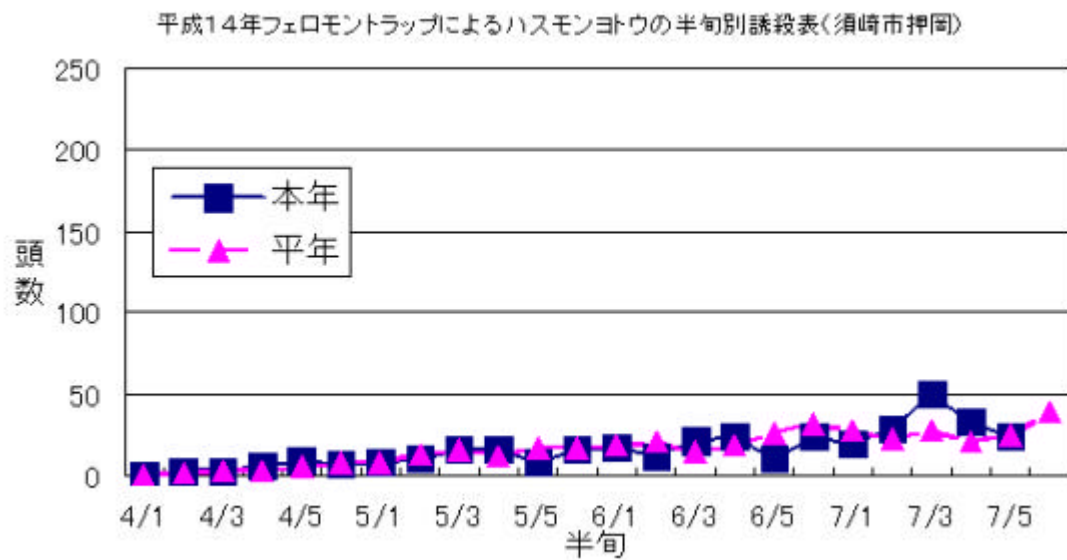


図2：サトイモにおけるハスモンヨトウ卵塊数(南国市、農業技術センター内)

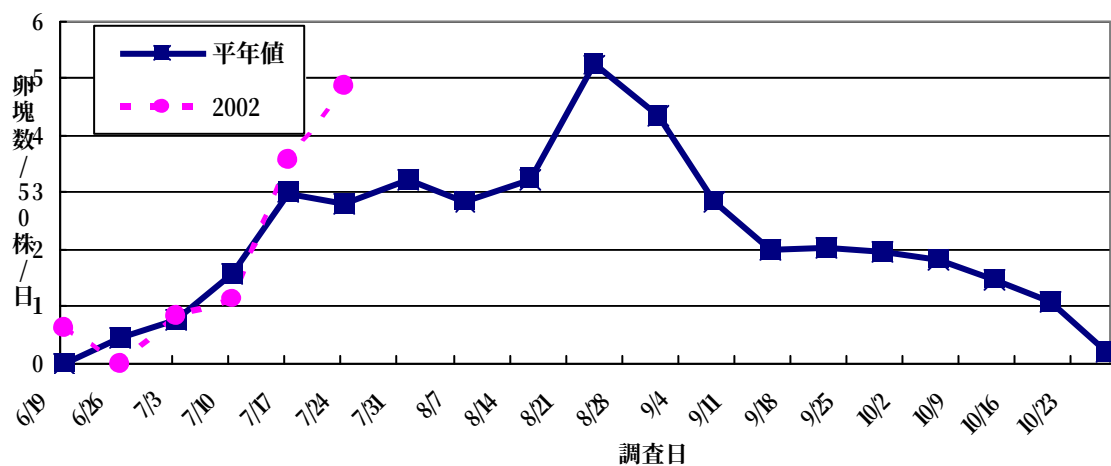


図 サトイモ圃場におけるハスモンヨトウ卵塊数の推移(農業技術センター)